

アプリケーションカタログ

回収ナトリウム中の水酸化ナトリウム タール酸(フェノール)と炭酸ナトリウムの定量

関連業界	:	-
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/中和滴定
関連規格	:	-

1. 概要

電位差自動滴定装置+多検体チェンジャを用いて回収ナトリウム中の水酸化ナトリウム、タール酸(フェノール)と炭酸ナトリウムの定量が測定可能か否かを検討することを目的として測定を行い、良好な結果を得ることができた。

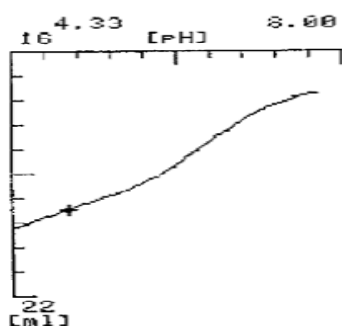
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
検出器	:	pHガラス電極 セラミック形比較電極 温度補償電極
オプション	:	多検体チェンジャ

3. 試薬

滴定液	:	0.5mol/l-塩酸
使用試薬	:	1%-塩化バリウム

4. 測定例



—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>

—測定結果—

	Sample (g)	titer (mL)	Result (%)
1	3.0592	19.8976	2.9951
2	3.0504	19.7817	2.8613
3	3.0397	19.7192	3.0210
平均			2.5991
偏差			0.0857
RSD (%)			2.89